

私の想い

【野球が好きなき子ども達
野球をしませんか】



野方球友スポーツ少年団
監督
野村 昭 仁 氏

平成14年4月、野方球友スポーツ少年団の監督を引き受けて、今年で19年目になります。このように永く監督をするとは思っていませんでした。監督を引き受けるきっかけは、長男が小学校二年生になると同時に「僕はいつから野球部に入るの」と話してきて入団することになり、その一年後に監督を引き受けました。この時、二男も入団しました。息子達の卒団とともに監督を辞めるつもりでしたが、引き継いでくれる人がいなくて今日に至っています。野球の指導については、がむしゃらに厳しく指導してきました。厳しい練習を続けてきた結

果、西日本大会、九州大会と何回も出場してきました。

野球ばかりではなく、「挨拶ができる子ども達」野球関係者ばかりでなく地域の方達にもしっかりと挨拶できる子どもになつて欲しいと思っています。

私は、野球が大好きです。野方球友スポーツ少年団の子ども達にも野球をずっと好きでいられるように指導したいものです。そして、高校野球まで頑張れる体力、知識はもちろんのこと技術を身に付けさせ、怪我、特に肘や肩を壊さないようしていきたい。

近年、少子高齢化に伴い野方球友スポーツ少年団の活動にも影響が出ており、団活動の拠点である野方小も児童数減少の影響があり、現在団員14名のうち野方小6名、大崎小6名、中沖小1名、国分北小1名で活動しています。



元気に野球を楽しむ子ども達

【子ども達の夢に 寄り添う】



大崎ソフトボールスポーツ少年団
代表指導者
岩 元 貴 幸 氏

大崎ソフトボールスポーツ少年団は昭和49年に創設された県内でも歴史ある少年団です。全国大会優勝をはじめ、県大会優勝回数は県内トップの十数回。小さな町からプロ野球選手を6人も輩出した原点はソフトボール。今年、デビューした西武ライオンズの浜屋投手もそんな環境で育った一人です。

新留前監督からバトンを受けて早いもので10年が経過。その間、少子化・多様化の波もあつてか、町内の4小学校にあつたチームは今では一つとなり、現在は各学校から集まつた16名で頑張っています。

少年団の良いところは同じ目標を持った仲間と共に助け合い、励ましあいながら成長していくところだと思います。これまでも多くのOBが夢に向かって巣立ち、そ

して正月にはまた集まつて後輩と触れ合つてきました。

また、指導者の役目は、野球・ソフトボールを愛し、楽しむ子ども達の夢を実現に近づけるためのお手伝いはもちろんのこと、挨拶や感謝の気持ちを大切に、親子で楽しめる環境を整えることだと思っています。

今年はコロナ禍で思うような活動・試合が出来ないまま、あつという間に半年が過ぎました。六年生にとつては思い出深い大事な一年になるはずがそれも残りわずか。一日一日を大切に、子ども達と一緒に夢をみたいと思つています。

そして、いつまでも子ども達の笑顔が途絶えない少年団活動を町や住民の皆様と一緒に守り続けられればと願つております。



OBからの寄贈品に喜ぶ団員達

編集後記

朝夕はめっきり冷え込んできておりますが、お変わりございませんか。ここに議会、たより157号をお届けします。

さて、今年は新型コロナウィルス感染症の影響で、議会では住民と語る会の開催もできない状況ですが、かねてより皆様方のご意見をお聞きし町当局へ、住みよい町になるよう要望しています。更に新型コロナによる影響で経済が停滞しないような対策も求めていきたいと思つます。

今後もより良い広報紙となるよう委員一同、頑張りますので是非一読ください。時節柄お風邪など召されませんようご自愛ください。(児玉 孝徳)

議会広報広聴常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 児玉 孝徳 |
| 副委員長 | 稲留 光晴 |
| 委員 | 小野 光夫 |
| 委員 | 吉原 信雄 |
| 委員 | 中倉 広文 |
| 委員 | 諸木 悦朗 |

発行責任者
大崎町議会議員 宮本 昭一